

保護者様

宇部市立川上小学校

やまぐちっ子学習プリントの活用について

本校では、やまぐちっ子学習プリントを活用し、本校の子どもたちの学力保障に役立ててきました。これまでの継続した取組と保護者の方々の協力により、プリントを用いた家庭学習が習慣化し、子どもたちの学力が向上してきました。今年度も引き続き、やまぐちっ子学習プリントを活用し、更なる学力保障に取り組めます。

つきましては、保護者の皆様に学習プリント活用の意義と活用の仕方についてご理解いただき、子どもたちの学力向上につなげていけたらと思います。

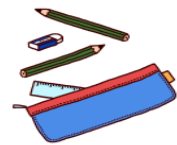
学習^{よろこ}びて時にこれを習う、また説^{よろこ}ばしからずや ～プリントの活用の意義～

2500年前の哲学者、孔子の『論語』の一説です。現代語訳すると、「学んだことを適当な時期におさらいするのは、理解が深まるので、とてもうれしいことだ。」となります。これは、現代の子どもたちの学習についても言えることです。1度学習しただけで学習内容全てが頭の中に入っているという子はなかなかいないでしょう。多くの子どもたちは、授業が終わってある程度の期間が経てばほとんど忘れてしまいます。これでは、授業中に学んだことが定着していきません。だからこそ、こうした状況を補うために宿題や自主学習があります。宿題や自主学習で問題を解くことで、おさらいの時間を確保し、学習内容を定着させていくのです。まさに、『学習^{よろこ}びて時にこれを習う、また説^{よろこ}ばしからずや』なのです。

やまぐちっ子学習プリントは、こういった家庭での宿題や自主学習を充実させ、子どもたちにしっかりと学んだことを定着させるために活用していきます。

やまぐちっ子学習プリントの活用の仕方

やまぐちっ子学習プリントは、以下のように活用していきます。



① ぐんぐん教室にある学習プリントを、自由に子どもたちが手に取り主体的に家庭で学習します。

本校の全ての子どもたちが自分の課題に応じて、どの学年、どの単元でも、何度でも自由に学習プリントを手に取り学習できるよう、ぐんぐん教室に学習プリントが準備してあります。休み時間に学習プリントを取り、家庭に持ち帰って取り組みます。

答えがプリントの裏面に印刷してありますので、子どもたちが自分で丸つけをし、自分の理解度を自分で確認します。よく分からない問題がある場合には、ぐんぐん教室に設置してある回収箱に学習プリントを入れ添削してもらいます。

② 土・日の宿題として学習プリントを活用します。

土・日の宿題として学習プリントを家庭に持ち帰ることもあります。子ども自身が自分の課題に応じたプリントを選択することを基本としますが、学習内容の定着具合を見取るために、担任が持ち帰る学習プリントを指定することもあります。その場合も①と同様に丸つけは自分で行います。

③ ぐんぐん川上っ子（学習状況確認シート）で学習への意欲付けを図ります。

いつ、どの学習プリントを学習したのかをぐんぐん川上っ子に子どもたちが記入していきます。ぐんぐん川上っ子をぐんぐん教室に提出し、教職員や支援員がそのシートに印やシール、コメントを入れることで子どもたちの学習意欲を高めます。また、なかなか学習が進まない子には、個別に声をかけたり、分からない問題を指導したりします。



保護者の方へお願い～自分で丸をつけることについて～

基本的に学習プリントの丸つけは子ども自身で行うようにしています。その理由は以下の通りです。

- ① プリントの問題を解き、直後に自分で丸をつけることで、「自分は何ができたのか。何ができていないのか。」をその場で確認することができる。
- ② できなかった問題のやり直しをすることで、間違えた問題をもう1度解き、理解につなげることができる。

ただし、これは子どもたちがただ漠然と答え合わせをするのではなく、きちんと丸つけができる状態であれば効果的です。きちんと丸つけができるようになるには少し練習が必要です。学校では、授業で練習問題をする際に、丸つけの練習をさせています。家庭での学習の際に、保護者の方にはお子さんの丸つけの様子を見ていただけると助かります。お子さんがきちんと丸つけができているかどうかを確認することができ、加えて学力の定着状況が分かります。そして、何より子どもたちの励みになります。ご協力いただけたらと思います。

よろしくお願いいたします。